

令和3年 第3回 教育委員会会議録	
1. 開会日時	令和3年3月25日(木) 午後2時00分
2. 場所	峰行政サービスセンター 第4会議室
3. 出席委員	吉野委員、佐伯委員、一宮委員、斎藤委員
4. 出席者	永留教育長、阿比留教育部長、八島次長兼教育総務課長、吉野学校教育課長、庄司生涯学習課長、川辺文化財課長
5. 会議書記	扇課長補佐
6. 閉会日時	令和3年3月25日(木) 午後5時35分
7. 議 事	
日程第 1	会議録署名委員の指名
日程第 2	会期日程の決定
日程第 3	教育長諸報告
日程第 4	議案第7号 第2期対馬市教育振興基本計画の策定について
日程第 5	議案第8号 対馬市立小・中学校に勤務する教職員の自家用車使用による公務旅行に関する取扱要綱の一部を改正する要綱について
日程第 6	議案第9号 専決処分の承認を求めることについて (職員の人事異動及び指導主事の任免について)
日程第 7	報告第6号 要保護及び準要保護児童生徒の認定等について
日程第 8	その他

	<p>崎県文化財指定であるとか、対馬の盆踊りの重要無形文化財指定などについて報告をおこないました。また令和2年度の事業総括をおこなっております。このことで私は非常に心配なのが、赤米伝統行事、これの継承が非常に難しい状況になってきているということを心配しております。それから22日に社会教育委員の会議をおこないましたが、今年度の生涯学習課と各地区生涯学習センターの事業統括をおこなっております。また、令和3年の10月に長崎県の公民館大会が対馬市で開催される運びになっております。それから23日に高校教育課来庁と書いておりますけれども、間違っておりまして高校教育課ではなくて県立学校改革推進室から室長、それから教育次長等が来庁されまして、中身は何かと言いますと高校の生徒数減による統廃合を視野に入れて、生徒を集めるための高校の魅力化であるとか活性化を図るために、協議会を設置したいと言うことで令和3年度から早速この協議会で高校の魅力化・活性化の方策を探っていくことになっております。以上で諸報告を終わります。報告事項について何か質疑等ありましたら、「その他」の項でお受けしたいと思います。</p> <p>続きまして日程第4、議案第7号、「第2期対馬市教育振興基本計画の策定について」を議題とします。事務局から提案理由の説明をお願いします。</p>
八島次長	教育長、教育総務課から。
永留教育長	はい、八島次長。
八島次長	<p>では3ページをお願いいたします。議案第7号、第2期対馬市教育振興基本計画について。対馬市の教育施策を総合的かつ計画的に推進するため、第2期対馬市教育振興基本計画を策定しましたので、教育委員会の承認を求めるものでございます。</p> <p>提案理由についてご説明を申し上げます。対馬市教育方針に掲げる理念や今後推進すべき具体的施策を明らかにし、本市の教育行政施策を総合的かつ計画的に推進するため、対馬市教育振興基本計画を策定してございましたけれども、今年度が計画期間の最終年度となりますので、次年度から5年間の第2期対馬市教育振興基本計画を策定しましたので提案するものでございます。</p> <p>内容について簡単にご説明申し上げます。別冊の、先にお配りしておりました第2期対馬市教育振興基本計画を御覧いただきたいと思います。まず1ページ目をお開きください。計画策定の趣旨ということで記載しております。29年3月に策定した対馬市教育振興基本計画が令和2年度で終了となることから、第2期対馬市教育振興基本計画</p>

	<p>を策定し、本市教育行政の振興に努めることとしております。2番の計画の性格につきましては変更しておりません。2ページをお願いします。計画の期間ということで令和3年度から令和7年度としております。次に3ページから教育方針、それから6ページからの教育努力目標変更については変更ありません。7ページの表をお願いいたします。基本計画体系図を示しております。主要施策の上から7番目のところの5、情報教育環境の整備と主な取組を、一人一台のタブレット端末の運用がなされていることから豊かな学力・豊かな心を育てる学校教育の推進のところに変更しております。また生涯学習課関係の主要施策や主な取組を現状に沿った内容に変更しております。次に8ページから38ページにかけては第3章として各課ごとにおける課題と主要計画を記載しております。それぞれの担当課において全体の具体的な現状を記載し、主要施策においては施策ごとの現状・課題と主な取組、達成目標を記載しております。</p> <p>現状や課題・主な取組、資料の欄は現在の状況により適宜変更しております。また達成目標につきましても計画期間に合わせ修正や内容の変更をおこなっております。計画につきましては事前に配布させていただいておりますので御確認いただけていると思います。主要施策ごとの説明は省略させていただきたいと思います。既存の計画との変更箇所等につきましては単純に数値等の変更のみではなく、文章の削除や変更があるため詳しく説明するのが難しいところもございます。質疑の中で各所管課長に補足等できるかと考えておりますのでよろしくをお願いいたします。以上簡単ですが第2期教育振興基本計画について説明を終わります。</p>
永留教育長	はい、説明が終わりましたので審議方よろしくをお願いいたします。質疑はありませんでしょうか。
一宮委員	はい。
永留教育長	一宮委員さん。
一宮委員	<p>一宮です。事前に配布はしていただいているのですがけれども、もしお時間の都合があれば簡単で結構ですので各課かいつまんでポイントでもご説明いただけると私達としては助かりますがいかがでしょうか。</p> <p>教育委員からの質問があつて深めるのと少しご説明いただいた後教育委員の方が質問するのとまた深まり方が違うと思うので、是非お願いできればと思つて今日は参りました。</p>

八島次長	説明はとりあえずそれぞれページごとにしたほうがよろしいでしょうか。
永留教育長	そうしましたら各課ごとにかいつまんで説明してもらいましょうか。
八島次長	<p>はい。それでは教育総務課の所管部分のところでございます。まず8ページからになります。基本的な書きぶりにつきましては前回の計画をなぞっております。ただ先ほど申しましたところでICTの情報教育環境関係につきましては、タブレット等の部分が主な部分になっておりますので、学校教育課の方へにずらさせていただいております。</p> <p>それからまず10ページをお願いいたします。小・中学校施設の整備ということで、現状等々についてはほぼ変わっておりません。それから課題につきましては、基本的には古い建物が多いということで、昭和40年代後半から平成2年にかけて建てられているというところがございます。それで状況を書きながら下のほうに、主な取組といたしましても快適な環境づくりということ、これも継続していく必要がありますので内容としては変わっておりません。それから児童・生徒の安全対策につきましても現在おこなっている猪・鹿の有害鳥獣対策の学校周辺フェンスの所もまだ現在進行途中でありますので、その分についてそのまま記載させております。</p> <p>資料の中で学校の統廃合がっておりますので、校舎・体育館について数量が減っております。19の12ですね。それまでが20の13という合計となっておりますので、その分を変更しております。</p> <p>それから一番下の達成目標の部分で一番下の和式トイレの整備目標の整備率ということで、計画としては令和7年度までなのですが、トイレの洋式化の計画の部分は令和6年度までで一応完了する予定としておりましたので、令和6年度で50.9%という形で目標を設定しております。</p> <p>それから隣の主要施策2の適正配置の推進ということでございまして、現状として現在の状況に書き直しております。統合推進計画につきましても中ほどの少し下になりますけれども、令和2年度までの10カ年の計画期間が本年度で終わります。その間小学校で本校が7校、分校が1校、中学校は本校3校の統廃合を進めてきたということです。それから離島留学制度により29年度に1度だけ複式学級の解消ができたという文言を追加しております。それから下のほうで令</p>

	<p>和3年度から第2次の対馬市立学校及び幼稚園統廃合推進計画を作成し進めていくというような書きぶりをしております。</p> <p>課題といたしましては、中の数値の部分で適正規模の小学校が70名以上、中学校が50名以上及び各学年1学級以上というところの基準を下回っているところで、小学校が変更で73.7%、中学校が58.3%と数値を変更しております。それから主な取組といたしまして令和3年度から第2次対馬市立学校適正及び幼稚園統合推進計画を作成することとしておりますので、その部分に変更しております。それから資料につきましては学校数に変更になっておりますので変更しております。それから達成目標分につきましては統廃合の目標年度令和7年度において小学校4校・中学校2校を統廃合するという目標としております。離島留学生につきましては令和7年度において累計30名ということで既存の計画と変更はあっておりません。教育総務課の分は以上になります。</p>
永留教育長	まず教育総務課の件で何か質疑はありませんか。
吉野委員	はい。8ページに書いてある昭和38年度建設厳原小学校の老朽化ですね。58年経過しているような状況ですが、達成目標で建設年度などを、他の達成目標では年度とか数字とかパーセントを書いていますけれど、具体的に建設年度を示すまでの長期計画なんかが学校関係では予算のこともあるでしょうが、もう少し具体的に、定期的な安全点検とか、あまりにも抽象的すぎて、いつになるやらわからないような計画ではちょっとどうかなと思うのですが、これは書けないのでしょうか。市長との協議はできませんか。
八島次長	なかなか財政的な状況がございまして、何年度に確実にできますよというような書き方がちょっと難しい状況ですので、なかなか正確に記載するのは非常に難しいところなのです。我々独自だけで記載することもできませんし、また市の財政状況も変わってきますので、今ずっと計画しながら財政課やら市長とも協議はしているのですが、その中でスケジュールがはっきりしないというところもあって、記載ができないというところではあります。令和3年度に一応厳原小の耐力度調査を実施しまして、それで耐力の状況がどうなのかというところですね、だんだんとスケジュールが決まってくるような。
吉野委員	もう耐力ないでしょう。
八島次長	耐震診断・耐震補強をしていますので、割と学校の躯体自体は丈夫になっておりまして。

吉野委員	ただ11ページみたいに目標年度を掲げるとか、せめてあと3年度とか5年度とかという、来年ではなく、令和7年度までの長期計画みたいなのは、7年度までもたすのは、これまた極端な話ですけども。
八島次長	仮に耐力度を今年やって、次に今度は建設基本計画というのを立てる形になります。その計画ができれば今度は実施設計ということで実際の設計に入っていきます。それから建て替えるということでも最低でも5年ぐらいのスパンがかかるのです。その点もあってなかなか枠内に入れることが難しいところがあって、記載は難しいというのが現状です。
吉野委員	児童・生徒のことを考えると58年も経過して、まだいつになるかわからないという状態ではちょっとあまりにも無責任な気もするのですが。
八島次長	ただその点はもう動き出しているのです。言われるように耐力度調査をして、建て替えに向かって動き始めている。それは市長ともそういう協議して。
吉野委員	その辺でまだ年度は出せないということですか。
八島次長	まだはっきりしません。そこでその何年度というのが独り歩きしていく形となりますので。
吉野委員	ちょっとそこら辺が待ち遠しいところです。
八島次長	筋道ができる記載できるだろうとは思いますが。
吉野委員	ちょっと巖原小学校は極端すぎると思ったりもしています。
八島次長	今からの施設は長寿命化という形になって、途中途中で少しずつ扱いながら80年ぐらいに保たそうよというような、今からの施設の整備とかその点につきましてはそのような感じになってきますので、建て替えがメインではなくて、今後は補修というのが大体メインになってくるような感じになっています。
吉野委員	この基本計画を作る時にもある程度は市長部局との話し合い、打ち合わせはできているわけでしょう。
八島次長	この内容については、今あるやつの基本的なところは変えてないので目標年度が終わるので、その目標年度といったところでその数値を変えていっている形でのところではあるので、内容について協議というのは基本的にはあまりしてないです。
吉野委員	そうですか。財政と言うか、市長部局とのすり合わせがなくて、この教育委員会だけで単独で計画を立てても無意味な気がします。

八島次長	基本的には計画には財政がともなうところの部分はあまり記載して いなくて、ソフト的な部分とか、そういう部分での計画になります。
永留教育長	はい。別件でありませんか。
一宮委員	はい。
永留教育長	はい、一宮委員さん。
一宮委員	一宮です。施設の関係で学校施設の適正配置の促進ということで、 今度の統廃合の問題で、小学校が児童70名以上、中学校が生徒数5 0名以上を目標にしていると思うのですが、統合して今のところ 対馬市の場合は教育効果は上がっているのでしょうか。子ども達へ の負担なり、通学距離とか時間とかスクールバス関係も含めまして、 支障はないのでしょうか。
八島次長	学校現場から特にそういったことは出てないです。
吉野課長	統合したことによる問題という報告は聞いておりません。
八島次長	当然通学時間は長くなるので、子ども達の負担がかかってくると思 いますけれども。
一宮委員	小学生の児童が体力的なものとか、朝早かったりとか、そういうの がどうなのかなと思います。適正配置という部分ですけれども、その 辺りを進めていく上でも数値的な問題にこだわらずに、やはり中で生 活していく子ども達の実態を踏まえながら進めていかないと、小規模 校は小規模校なりの教育効果というのはかなりあると思うのです。学 校は地域に文化を発信する部分もありますから、そのあたりも第2期 に入ったので気にかかるところです。で、是非熟考していただきたい と思います。
八島次長	そうですね。基本的には小学校もなるべく残す方向では考えている のですが、どんどん子どもが減って行って全校で一桁とかいう 状況も出てきていますので。避けて通れないところもあるのかなと。 中学校については、基本的に複式は避ける形での方向性で考えており ます。
一宮委員	そうですね。対馬の場合、地域で育てる教育力の効果というのはす ごく大きなところだから、よろしくお願いします。
八島次長	統廃合していく事が全てではないので、その辺は状況によって変え ていきます。
一宮委員	分かりました。質問を終わります。

永留教育長	ほかにご意見ありませんでしょうか。ないようでしたら、ちょっと私から。離島留学制度と島っこ留学制度を使い分けた方がいいと思うのです。離島留学制度は高校がしている。
八島次長	そうですね。
永留教育長	現状の下から4行目、島っこ留学生に変更した方がいい。達成目標のところも離島留学生ではなくて島っこ留学生にした方がいい。
八島次長	はい。
永留教育長	続きまして学校教育課お願いします。
吉野課長	<p>学校教育課です。それでは施策について説明します。14ページをお開きください。主要施策の1番目、対馬を支える人材の育成についてです。これにつきましてはふるさと学習というのを各学校で進めております。地域の実態を捉えながら各校で取組がなされておりました、対馬の生物とか郷土料理、歴史、伝統芸能、地場産業にかかる体験、キャリア教育など多岐にわたっております。これは各学校で充実して工夫して行われておりますが、現在の段階では小学校と中学校の9年間を見通した題材の選定でありますとか、目標設定とか系統性を持った部分がまだ不十分だと思っておりますので、この辺を課題と捉え、系統性のあるふるさと学習の充実をしていきたいと考えております。主な取組としましては情報交換でありますとか、学んできたことの発表の場を作るとか、それから活用力の向上でありますとか、あとコミュニティ・スクールが現在1校できておりますので、これも活用しながら地域を巻き込んだ学習を進めていくとかいう風な形で、系統性を持った9年間を見据えたふるさと学習の充実を今後図ってきたいと考えております。</p> <p>それから15ページの主要施策の2、個々の学びの充実についてです。対馬市の全国学力・学習状況調査等の結果を見ますと、平均正答率が年度によっては県の平均を超えることがあるのですが、多くは県及び国の平均正答率には届いていないという現状があります。そこで市教委としては、研究指定校事業でありますとか授業改善研修をしまして、教師の指導力向上を図っているところであります。課題としましては調査を受ける学年ではなくて低学年の頃から学力をつけるという取組をする必要がありますので、そういう研修等をおこないながらまた、また島内の小学校の半数が複式学級を有しておりますので、複式指導の充実に関わる研修等をおこないながら進めていきたいと考えております。主な取組と書いておりますのは学力向上対策として、そ</p>

それからタブレット端末等を入れておりますのでICT教育の推進。それから特別支援教育に関しても個に応じた指導ができるような研修体制、指導体制を作っていきたいと考えております。

主要施策の3です。自己実現を目指す子どもの育成ということで、不登校生徒でありますとか、子ども達への対応も含めて記述をしております。本市の児童生徒の道徳性の特徴として全国学力・学習状況調査の結果では、人が困っている時に進んで助けていると回答した割合が全国平均より高くなっておりまして、そういう良さが対馬市の子どもにはあります。ただ課題としましては、不登校・不登校傾向の児童生徒に対しての対応について組織的な対応でありますとか、関係機関と専門家の連携を図って対応していく必要がありますので、そういう取組のできるような施策をそこに記述をしております。生徒指導の充実とともに教育教科としての道徳も充実するということもそこに記述をしております。また人権平和教育についても記しております、人権侵害がないように学校の指導をおこなっていきたいと考えております。

主要施策の4に移ります。健やかな体を持つ子どもの育成ということで、対馬市の子どもは体力テストの結果から見ますと小学校では持久力や投力、それから中学校では持久力が優れているのですが、小・中学校ともに握力、筋力関係でありますとか柔軟性、跳躍力等に課題がありますので、バランスの取れた体力作りということの必要性を感じるところです。また健康面では感染症への対応とともに、アレルギー疾患も増加しておりますので、課題が多様化して対応も求められているところ。主な取組といたしましては体力向上の取組。これは各学校で計画を立てておこなうことと、それから研修会等を通して指導力向上を図ること。それから健康教育の推進ではフッ化物の洗口でありますとか、薬物乱用防止教室の充実に向けた支援。それから食育と学校給食の充実ということで食に対する指導、質の向上を図って参ります。

最後に主要施策5でICTを活用した教育の充実ということですが、ハード的には一人一台端末が実現はされましたが、具体的な活用による学習の充実を図るためには、児童・生徒の活用能力を育むとともに、指導者のスキルを高めていく必要がありますので、タブレット等に入っているアプリ等の使い方ありますとか有効活用について研修や、今回ヘルプデスク等も設置しましたのでそれも活用しながら、

	<p>今後入れた箱をうまく使って効果的に学習を進めていくということの指導を進めていきたいと考えております。</p> <p>概略になりますが学校教育課からは以上です。</p>
永留教育長	学校教育課関係で何かありませんでしょうか。
佐伯委員	はい。
永留教育長	はい。佐伯委員さん。
佐伯委員	<p>はい。最後の5番のICTの関係なのですけれども、市の総合計画の時にもその辺りを考えて質問したのですけれども、専門の担当部署を対馬市はまだ持ってないですよ、というような話をさせていただきまして。市側の回答としてはそれをメインとして名前に冠したような課は作らないかもしれないけれど、しっかりと対応はしていきますというご回答だったのです。学校の現場、学校の先生方も多分大変な思いをしながら活用をなさっていかれると思うので、是非組織の中に、教育委員会の中にもそういった専門的に扱える職員さん方、数名でも構わないので、担当ができるような方々を育成とか組織化を今後また課題としていただけたらなと思っています。これには盛り込めないと思うのですけれども、そういったところもしていかないと現場でいきなりやりなさいと言っても結局現場では限界があるので、後方支援をしっかりと現場が安心して指導できるような体制づくりを今後盛り込んでいただければなと思います。</p>
吉野課長	<p>ICT支援員とかいう考え方があって、それが各学校のヘルプデスク的な役割とか設定関係までするような感じの、ICT支援員というのがいるのですけれども、本市の場合は人材それから財政的にも厳しいというところがあって、タブレットを小・中全てを同じ会社で契約しているところもありまして、今年度ヘルプデスクというものを設置して、学校から困っていることがあれば電話でいつでも聞けるような体制を取っています。そこを有効活用してもらえると、これまで委員会ではなかなか個別に対応できなかった部分が少しできるようになるかなとは考えておりますけれど。今言われているように教育委員会内にそういう専門機関が我々も欲しいところです。設置いただくとうれしいなと思いつつながら。そういう要望等、願いは伝えていきたいと思っております。ありがとうございました。</p>
佐伯委員	デジタルトランスフォーメーション、DXが今全世界で言われていて、やはり外注ではなく自前で持たないと組織も育たないし、組織の

	目的も達成できないと思いますので、また是非強く推進よろしく願いいたします。
永留教育長	はい別件ありませんか。
一宮委員	はい。
永留教育長	はい。一宮委員さん。
一宮委員	はい。一宮です。施策3の自己実現を目指す子どもの育成で、現状として不登校児童生徒数が小学校7名中学校37名という数値が上がっているのですが、主な取組として教育支援センターみちしるべによる不登校支援の充実が図られています。
吉野課長	学校を通して申し込みをするようになってますが、その前にみちしるべの指導員が各学校回ったりして話をしながら、学校と連携をとっているのです。そこでじゃあこの子はうちに来たほうがいいんじゃないという話もあるかもしれませんが、形式的に申し込んでというだけではなくて、連絡を取り合いながらこっちにつなぎに行こうかなというような形で連携を取っていると思います。
一宮委員	そのみちしるべに行かない生徒さんはお家にいらっしゃるのですかね。
吉野課長	そうですね、基本自宅が多いですかね。
一宮委員	ですよね。ほかにあてがないからですね。家庭とみちしるべの関係も是非充実させていく必要があるのかなという気がしますのでよろしくお願いします。質問は以上です。
永留教育長	はい、ほかにありませんでしょうか。
斎藤委員	はい。
永留教育長	はい、斎藤委員さん。
斎藤委員	すみません、施策4のことなのですが、体を作るためにはもちろん食が大事だと思っていますので、作る側の給食センターのスタッフの充実度とかそういうのは今のところ大丈夫なのかと。
吉野課長	給食の調理員自体は学校給食会に委託をして、そこで雇うというような形になっておりますけれども、全島的な現状としてはなかなか人がいない。もし辞められたりとかした場合とか、もし休む時には代替するのですが、そういう方がいないとか、非常に人不足の状況が市内にあります。

斎藤委員	<p>何ですかね。そうですか。食が大事なのは、体作りが大事なのだと思うわけで、そういうところも充実させた方がいいのかなと個人的に思ったので質問させていただきました。</p>
永留教育長	<p>はい、ほかにありませんか。ではないようでしたら、生涯学習課に移ります。お願いします。</p>
庄司課長	<p>生涯学習課です。24ページをお願いいたします。主要施策1の生涯学習を推進するための体制づくりということで、以前の計画では、ここはまちづくりということになっておりました。まちづくりをする前に、まず生涯学習のための体制、施設等の体制づくりも必要ではないかということで変更しています。この中で現状としまして活動団体の会員の減少とか、いつでもどこでも学べる環境が整えているが、利用者の利用頻度や利用率に偏りがあることです。いろいろな要件ございます。そのために課題といたしまして、社会教育施設の環境の整備が不十分であるということ。情報を広く市民に提供できていないのではないかと課題としております。それから主な取組としましては今後生涯学習関係の効果的な情報発信とか、各団体の育成支援、それから市民のニーズに対応した施設の整備等、特にWi-Fi等最近環境が求められておりますので、そういうところで施設整備も含めていきたいと考えております。</p> <p>本年度、サンプル数は少ないのですが、公民館利用者に利用頻度のアンケート調査をさせていただいております。その中で週1回以上利用するという方が18.6%、年1回以上利用する方が21.6%、月1回以上利用する方が26.8%。今回たまたま来ていましたが普段はほとんど利用しないという方が33%というアンケート結果になっております。</p> <p>続きまして主要施策2の郷土を愛するつしまっ子の育成ということで現在の対馬市におきましても児童・生徒数が減少しております。核家族等の影響による家庭教育力の低下も感じられるところでございます。それから大きな問題として市外の高校へ進学する子どもの増加ということもあります。課題といたしまして、以前の計画からわかりやすく現在の状況に沿いまして箇条書きで課題を取り上げさせていただいております。まず現在の生徒数減少によりまして様々な体験活動の機会が減少しているということ。そして地域ぐるみで青少年健全育成の推進を求められているということ。それから対馬の文化や魅力をきちんと伝えるためのふるさと学習を醸成させることで将来の対馬を担う人材の育成をおこなっていくことが課題として挙げられておりま</p>

す。主な取組としましては、まず現在も実施しておりますけれども、地域子ども教室を拡充していきたいと。こちらは市議会の一般質問等でも考慮されているところをごさいます、拡充していこうと目標を立てております。それから例年のことですが、つしまっ子郷土読本、こちら小学5年生へ配布しておりますけれども、こちら充実を継続していきたいということで考えております。後の地域と一体となった取組につきましては例年と変わりません。

続きまして主要施策3、偏見のない明るい社会づくり、資料26ページでございます。現在人権を取り巻く環境というのは複雑、そして多様化しております、いじめとかLGBTへの問題等、難しい問題も出てきております。市民の方々が人権という言葉で自らハードルを高くされておりますので、まずは人権については全ての方が持っている権利で、誰もが当事者であるということで、そういうことを周知しまして、人権に対するイメージのハードルを低くすることが大事ではないだろうかということで課題にしております。そのために取組としては現在人権を考えるつどいを開催しておりますけれども、こちらもより参加しやすい環境を整えながら、参加者の増加を図っていきたくて考えております。そしてあらゆる場でリーフレット等の配布によりまして周知・啓発をしていきたいと考えております。

続きまして主要施策の4です。心を潤す芸術文化活動の推進でございますが、こちらは市民の心豊かな市民生活の実現・心に潤い、ゆとりをもたらす施策として対馬市文化協会を中心としました各種施策をしていくところでございます。それから本年度、市民劇団漁火によりまして新演目を制作するように脚本を作っております。次年度以降上演ができるものであるかと考えております。課題としましては文化協会、こちらの方も減少しております組織力の低下が見られると。それから小・中学生にあっては本物の文化芸術に触れることが少ないということも課題として挙げられております。そのようなことから対馬市文化協会の活動支援とか、市民美術展による文化活動の高揚、そして県内外からの本物の文化芸術等呼び込むことによって子ども達が本物の文化芸術に触れる機会を増やしてやるということを取り組んでいきたいと考えております。

続きまして28ページのゆとりある生涯学習の場、公民館づくりということでございます。現在主婦層を中心とした趣味的な講座の開設が人気がありまして、集客もしやすいということでございますが、高齢化にともないましてこちら参加者数が減っております。課題とし

	<p>ましては、やはり集落が点在しておりますので参加するにもできないという環境もあるかと思えます。そこで取組としまして実年層を取り込みまして、市民活動につなげる講座の開設に努めていくと。どこでもできるような自主グループの推進にも努めていきたいと考えております。それからSDGs、今叫ばれておりますけれども、こちらで対馬の文化とか魅力を生かした公民館講座の開設、一例を挙げますと郷土料理とか有害鳥獣を利用した革細工などの講座も取り組んでいきたいと考えております。</p> <p>続きまして主要施策6、情報発信拠点としての図書館作りですが、こちらは現在順調に利用されています。その中でやはり誰でも利用できる図書館づくりということが大事で、引き続き大きな課題と考えておりますので、利用しやすい空間づくりを目指していきたいと考えております。目標としまして現在市民一人当たり年間2冊の目標にしておりますけれども、2.1冊ということで63,000冊の利用の増ということで目標を掲げております。</p> <p>続きまして30ページをお願いいたします。生涯・競技スポーツの普及ということで、本市におきましては、いつでも、どこでも、誰でも行える生涯スポーツに親しむことで、健康増進を図るということで、現在対馬市内におきましては各総合運動公園等をはじめとしていろんな施設が利用できるようになっております。その中でスポーツ推進等の活用をしながら各種大会とか、気軽にできるスポーツの普及・紹介などもしながら生涯スポーツの推進に努めていきたいと考えています。また体育施設がありますけれども、老朽化も否めないところがございますので、こちらの適正な配置についても検討し、より効果的な施設運営ができるようなことも考えております。生涯学習課からは以上であります。</p>
永留教育長	はい。生涯学習課に関して質疑はありませんでしょうか
佐伯委員	はい。
永留教育長	はい、佐伯さん。
佐伯委員	はいすみません。2つお尋ねしたいのですが、まず主要施策1のところ、久しぶりに青年団という言葉聞いたなど。婦人会も昔はよくされていたと私たちが小さい頃は。最近は回数がこういう風に出ているのですが、活動の状況はどうなのかと、触れ合う機会がないので教えていただきたいというのがまず1点です。

	<p>もう1つが、これは提案というか、主要施策の3番、偏見のない明るい社会づくりということで、なかなか島内でこういった言葉にもなかなか慣れ親しんでいないような方が多いのかなということをよく感じたりします。そういう時に、私の本業の方なのですが郵便局の組織が島内に今27の郵便局があつて、そこに百数十名の社員が働いているのですが、本当にしっかりとハラスメントとかLGBTとかSDGsとかその辺りを会社として教育に取り組んでいるのです。島内ではたぶん質・規模ともに大きな勢力なんじゃないかなと思いますので、また回答がありましたら是非郵便局等と一緒にやっていくことができないかなと考えていただくと、包括連携協定なども色々やらせていただいて様々な教育体制を整えている最中だと思いますので、是非また協力できる場所は、お互いにメリットがあると思いますので、していければなど。情報提供ということで。以上2点です。1つはもう大丈夫です。</p>
庄司課長	<p>はい。ありがとうございます。大変貴重なご指摘ありがとうございました。まず青年団活動につきましては各支部がありまして、支部を中心に活動しております。年に1、2回は全体、全部で92名ということで、全員参加ではないのですけれども新人歓迎イベントとかそういうものしながら融和を図っているということでございます。婦人会につきましては現在巖原地区婦人会しか残っておりませんので、こちらに年間補助金を出しているのですけれども、研修活動とか環境美化活動とかをされているということで報告は受けております。交流会等もレクリエーションや、交流会ということで、ご婦人同士の繋がりを保つための活動をされているということでございます。</p>
佐伯委員	<p>ありがとうございます。</p>
永留教育長	<p>はい。別件でありませんでしょうか。</p>
一宮委員	<p>はい。</p>
永留教育長	<p>はい、一宮委員。</p>
一宮委員	<p>はい、一宮です。生涯学習課はすごく施策が7個、広範囲にあるのですけれども、これを万遍なくやろうと思えば大変なことになると思うのです。特に今年度、重点的にどの辺りに力を入れてみたいという施策はございますか。</p>
庄司課長	<p>今年度、今期。</p>
一宮委員	<p>今期、通してですね、第2期を。</p>

庄司課長	<p>そうですね、この中で重点的にというやはり、子ども達というのがやはり対馬をつないでいく大事な宝だと考えますので、青少年に対する施策等を積極的におこなっていきたいと思っております。それと最後のほうに申しましたけれども、体育施設もうちの予算の中の大きなものを占めているところがございますので、効率的な予算執行とかを考えた場合に、より無駄のない体制にしていく必要があると思っておりますので、こちらのほうは時間をかけながら進めていきたいと考えております。</p> <p>市民の文化関係につきましても公民館に関係しますことから、いろいろ市民が参加しやすいような形のイベントとか、自立支援とかの振興に努めていきたいと思っております。以上でございます。</p>
一宮委員	<p>ありがとうございます。子ども達を大事にしたいというご回答ですが、子ども達に本物の舞台芸術なり、本物の芸術に触れさせることもご説明にありましたが、自分の経験からすると各学校が申し込んで各学校が動くようなシステムだと思うのですが、そういう文化庁関係をもう少し上手く市教委なりが情報提供を各学校にしてあげて、それを学校は利用させていただくとかいう形も含めて、何か出来ないものかなと思っております。またよろしければいろいろご検討いただければと思います。</p>
庄司課長	<p>文化庁事業につきましては各学校に投げかけをしますが、利用される、申し込まれる学校は決まっているような状況です。もっとうちとしても積極的に応募していただきたいところがあるのですが、なかなか授業日数の関係とかがあるのかなと思いつつながら、実際青少年劇場にしても昨年度、一昨年度授業日数の関係で辞退をされるという学校もございましたので、なかなか1日でも、半日くらいでも、というところもあつたりしたのですが、前は全学校応募されていたということなので、せっかくの機会ですので文化庁事業とかものすごく良い事業で、例えば今年度でありますと南小学校が当初大阪フィルのオーケストラに申し込まれていて、九州フィルに変わったのですが、たまたま南小学校の体育館が台風で破損したということで、せっかくだから公会堂に場所を移して、豊玉管内の全小学校に声かけをして九州音楽楽団の音楽を鑑賞したということもございまして、ものすごく良い経験になったのではないかと考えております。これを1回経験されているので経験された学校が来年のうちに希望を出してみようという感じで手を挙げてくださると嬉しいなと思っております。</p>

一宮委員	分かりました。
永留教育長	異論ではないですから、要望として聞いておいて、文化庁を利用したあれも活用していくということで先に進めたいと思います。
一宮委員	各学校の事情として、施設が使いたくても体育館とか狭かったり、コンセントとかが足りなかったりで利用できないのです。特に文化庁の場合は、その辺りも含めて施設関係と文化庁の事業を把握する必要があるかなと思って質問いたしました。以上です。
永留教育長	では次文化財課いきます。お願いします。
川辺課長	<p>はい。文化財課の関係施策の第1から説明させていただきます。34ページになります。指定文化財等の保存整備とあります。現状としまして対馬市は多くの指定文化財がありまして、文化財課の仕事の大半がこの指定文化財の対応ということで今時間を取られているところです。主な内容としましては、対馬藩関連遺産群というところの、金石城の跡地の事業とか越高遺跡の事業、お船江の事業、この3つが今大きな柱になっております。特に対馬藩関連遺産群に関しましては10年スパンで金石城跡とか万松院とか清水山城の整備をそれぞれ今からまたちょっとずつですけれども進めていかなければいけないというところです。今年度保存活用計画が金石城の部分に関しての保存活用計画を今作成中で、来年度は整備基本計画ということになります。越高遺跡も来年度は総合調査報告書をまとめる予定になっておりまして、お船江も令和3年4年度に向けて保存活用計画を作り、それから国の指定に向けてまた働きかけていくというふうな目白押しの予定になっております。今後も文化財の活用に努めていく必要があるのですけれども、課題のところは専門的な知識を持った職員の充足が必要ということになっておりますが、来年度は少しその部分は教育長がいろいろ骨を折っていただいて、満たされる予定かなというところになっておりますので、少しは来年からは仕事しやすくなるかなと思っております。</p> <p>次に主要施策の2です。天然記念物の保護につきましては、対馬は希少性の高い動植物が多くて、色々保護するべきところも多いのですが、最近自然環境や社会環境の変化等から、保護や維持面で対策が追いつかない状態になってきています。それでも一応適正な保護管理のために、市民や関連団体との連携強化に努めていかななくてはならないと思っております。</p> <p>次に36ページをお願いします。主要施策の3です。市内遺跡の調査・保全ということですが、先ほど対馬市にはたくさんの指定文化財</p>

	<p>があるということを申し上げましたが、実は指定以外にも、指定にはなっていないけれども、一応貴重な文化財というのがまだまだたくさんあるので、それも保護の対象になってくるということで、今からそちらのほうも少しずつではありますが整理していかなくてはいけないと思っています。特に近年は近代化遺産が色々取り上げられてきて、対馬市にもたくさんの近代化遺産がまだ手付かずのまま残っていますので、とりあえずは市の指定になりました姫神山の活用とかから考えて対応していきたいと思っています。</p> <p>次に主要施策の4です。民俗文化財の調査・記録保存に関しまして、これも対馬にはたくさんの民俗文化財が残っております。先日対馬の盆踊りが国の重要無形民俗文化財に指定されましたが、対馬の盆踊りも、先ほど教育長がおっしゃった赤米に関してもだんだん先細ってきているばかりで、文化財課としても何とかしたいのですが、こと民俗文化財に関しましては地域性とか、個人のプライバシーとか、非常にデリケートな問題を含んでおりますので、あまりずかずかその地域に入っていくこともちょっと難しい形になっております。今後も地域の方々と連携協力しながらその対応に関して進めていきたいなと思っています。</p> <p>次に38ページをお願いします。主要施策の5になります。文化財の活用です。昨年度に文化財保護法が一部改正されて、文化財の活用ということが結構大きく取り沙汰されているのですが、その活用について我々、私は文化財の活用というのは、ある意味生涯学習ではないかなと思っています。でもそれを履き違えて活用イコール観光と考えるとむしろ方々も多いので、そこをなんとかバランスを取りながら、乱開発にならないように今後、かつ、各観光の部署とか生涯学習とか学校教育と連携を進めながら活用を進めていきたいなと思っています。以上です。</p>
永留教育長	<p>はい、文化財課関係に関して何か質疑はありませんでしょうか。ありませんか。</p> <p>はい、質疑がないようでしたら、これから議案第7号を採決します。お諮りします。議案第7号、第2期対馬市教育振興基本計画の策定については原案のとおり決定することにご異議ありませんか。</p>
会場	「異議なし。」の声。
永留教育長	異議なしと認めます。よって議案第7号は原案のとおり可決されました。

	<p>1 間以上が経過しましたので、ここであの時計で3時15分まで休憩を取りたいと思います。</p> <p>再開します。日程第5、議案第8号、「対馬市立小・中学校に勤務する教職員の自家用車使用による公務旅行に関する取扱要綱の一部を改正する要綱について」を議題とします。事務局から提案理由の説明をお願いします。</p>
吉野課長	教育長、学校教育課長。
永留教育長	はい、吉野課長。
吉野課長	<p>失礼します。それでは対馬市立小・中学校に勤務する教職員の自家用車使用による公務旅行に関する取扱要綱の一部を改正する要綱について説明いたします。資料4ページを御覧ください。本改正の提案理由は免許を取得している教職員が自動車運転免許取得後1年未満である場合に、公務旅行に自動車を使用できない規定があるため、対馬市内の交通事情に合わせた公務旅行が可能となるよう改正を行うものです。例えば新採の教職員が卒業年度に免許を取得していた場合に、採用後しばらく公務旅行に自家用車が使えないので、対馬市内においてはバスを利用したの公務旅行実施となりますが、便数や路線を鑑みると実用的でない運用をせざるを得ませんでした。新採者もここ数年増えてきていることも鑑み、今回の改正をおこなうものです。</p> <p>具体的には5ページ及び6ページの新旧対照表をご覧ください。そこに記載のとおりです。第5条第2項に次の各号のいずれかに該当する場合は、自家用車の使用は承認してはならないとありますが、その第2号にある自動車運転免許取得後1年未満である場合又は、運転経験が浅く、運転技術が未熟である場合、とある中の自動車運転免許取得後1年未満である場合又はを削るものです。なおこの要綱は、令和3年4月1日から施行するものとしております。ご審議の上、ご承認くださるようお願い申し上げます。</p>
永留教育長	はい、説明が終わりましたので審議方よろしくお願いいたします。質疑はありませんでしょうか。
吉野委員	はい。
永留教育長	はい、吉野委員さん。
吉野委員	はい。改正案の中の2号、運転経験が浅く、運転技術が未熟である、これは1年未満でも乗ってもいいよというものの、浅くて未熟な

	場合は本人の申し出によるものか、校長が判断するのですか。あなたは未熟だからダメですよと。
吉野課長	あまりにも運転は控えた方がいいのではという指導もあり得るのではないかなと。
吉野委員	本人の申し出ですか。
吉野課長	1年未満という文言を取ることで、この号を全て取るという方法もあったのですが、やはり運転をさせて大丈夫かなという部分は考える必要があるかなと思いこの部分は残しました。
吉野委員	ただ、通勤は乗ってきているわけですよ。
吉野課長	そうですね。
吉野委員	例えば巖原の中学校に行く場合は駄目だったのですか。
吉野課長	いわゆる公務旅行、出張に行く場合は駄目だったのです。
永留教育長	これは第三者が判断できないと思いますので、本人が自分は運転技術が未熟だから今度の出張は公的機関を使って行きたいという申し出があった場合に限るのではないのでしょうか
吉野委員	申し出でしょうね。ちょっとこれ引っかけたのです。
吉野課長	分かりました。
永留教育長	はい、ほかにありませんでしょうか。
佐伯委員	はい。
永留教育長	はい、佐伯委員さん。
佐伯委員	すみません勉強不足で申し訳ないです。略をされている1と3から6号はどのようなものなのか教えていただけませんか。
吉野課長	1号は疾病、過労、睡眠不足、その他の理由により正常な運転ができる状態にない場合。2号はこれですね。3号は職員が運転用務のみを行う目的で公務旅行をする場合。4号が公務旅行をする職員以外の者、公務に関連するものを除く。を同乗させる場合。5号が自家用車が十分な点検・整備を受けていないと認められる場合。6号がその他、職員に自家用車を運転させることが適当でないと判断される場合。という6つになっております。
佐伯委員	分かりました。併せて免許証の確認とかは毎年されているのかどうか、その辺りは。
吉野課長	免許証の確認は管理職がするようにしております。
佐伯委員	分かりました。ありがとうございます。

永留教育長	<p>はい、ほかにありませんか。</p> <p>ではほかに質疑等ないようですから、これから議案第8号を採決します。お諮りします。議案第8号「対馬市立小中学校に勤務する教職員の自家用車による公務旅行に関する取扱要綱の一部を改正する要綱について」は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。</p>
会場	「異議なし。」の声。
永留教育長	<p>異議なしと認めます。よって議案第8号は原案のとおり可決されました。</p> <p>続きまして日程第6、議案第9号、「専決処分の承認を求めることについて」を議題とします。事務局から提案理由の説明をお願いします。</p>
八島次長	教育長。教育総務課長。
永留教育長	はい、八島次長。
八島次長	<p>では議案第9号、「専決処分の承認を求めることについて」をご説明させていただきます。7ページをお願いいたします。対馬市教育委員会教育長に対する事務委任規則第3条第1項の規定により、別紙のとおり専決処分したので、同条第2項の規定によりこれを報告し、教育委員会の承認を求めるものでございます。</p> <p>今回専決処分といたしましたのは、教育委員会事務局職員の課長級以上の人事異動及び指導主事の任免について、4月1日付けの人事異動の内示を対馬市が3月19日におこないましたので、それに合わせておこなっております。教育委員会の会議が本日としていたことから、会議にかけることができませんでしたので、別冊のとおり3月19日付けで専決処分をおこなっております。内容は先ほどお配りした別冊の方を御覧いただきたいと思います。下のほうが3月31日付けで退職する4名の分です。それから上のほうが4月1日からの異動者7名となっております。御覧いただきたいと思います。以上でございます。</p>
永留教育長	<p>はい、説明が終わりましたので審議方よろしくをお願いします。何か質疑はありませんでしょうか。</p> <p>はい、それでは質疑等ないようですから、これから議案第9号を採決します。お諮りします。議案第9号「専決処分の承認を求めることについて」は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。</p>
会場	「異議なし。」の声。

永留教育長	<p>異議なしと認めます。よって議案第9号は原案のとおり可決されました。</p> <p>続きまして日程第7、報告第6号、「要保護及び準要保護児童生徒の認定等について」を議題とします。事務局から報告をお願いします。</p>
吉野課長	教育長、学校教育課長。
永留教育長	はい、吉野課長。
吉野課長	<p>はい。資料11ページ、12ページをご覧ください。なお、校種別学校別の児童生徒の氏名等については別にお配りしている資料を御参照ください。この資料についてはこの会終了後に回収いたしますことを御了承ください。</p> <p>今回は令和3年2月1日現在の認定者数と令和3年3月1日現在で認定した要保護及び準要保護の人数を報告します。小学校の準要保護認定者は令和3年2月1日現在の認定者が162名、令和3年3月1日付けの新規認定者が3名で、合計165名となっています。中学校の準要保護認定者数は令和3年2月1日現在の認定者が86名、令和3年3月1日付けの新規認定者が4名で合計90名となっております。</p> <p>次に要保護について、小学校の要保護認定者は令和3年2月1日現在の認定者が10名、令和3年3月1日付けの新規認定者はいませんでした。中学校の要保護認定者は令和3年2月1日現在の認定者が12名、令和3年3月1日付けの新規認定者等はいませんでした。以上です。</p>
永留教育長	<p>はい、報告が終わりましたが、この件に関して質疑はありませんでしょうか。</p> <p>はい、質疑等ないようでしたら、報告第6号、「要保護及び準要保護児童生徒の認定等について」の報告は終了いたします。</p> <p>続きまして日程第8、「その他」の事項に移ります。まず各課の事業予定を報告させていただきたいと思います。お手元に4月の事業予定表を配布しておりますので御覧ください。教育総務課から順に主な内容について報告をお願いします。</p>
八島次長	はい、教育総務課長。
永留教育長	はい、八島次長。
八島次長	<p>それでは教育総務課関係の事業予定についてご説明申し上げます。まず1日が教育委員会事務局の職員の辞令交付式を予定しております。場所につきましては厳原交流センターとともに峰行政サービスセ</p>

	ンター等でおこないます。それからずっと先に行きまして、27日から30日にかけて区長会議が開催されます。月間業務としまして島っこ留学生の歓迎会ですとか、学校予算配分説明会を4月中に行う予定です。以上でございます。
永留教育長	はい、次、学校教育課お願いします。
吉野課長	はい、教育長、学校教育課長。
永留教育長	はい、吉野課長。
吉野課長	はい。学校教育関係ですが5日幼稚園こども園の園長会。6日が1学期の始業式になります。7日が小中学校の入学式。8日に記載のある小学校が入学式をおこないます。12日が巖原幼稚園の入園式。13日が鶏鳴幼稚園・比田勝こども園の入園式です。14日第1回対馬市校長会を交流センターでおこないます。なお午前中になりますが、新補管理職研修をおこないます。19日第1回の対馬市教頭会、翌日が定例教頭会になります。22日義務教育指導主事等研修会が県庁でありますので、学校教育課の指導班が、今年度は人数制限がありますので交代で出席をするという形をとります。26日ICTの研修会等が入っております。学校教育課からは以上です。
永留教育長	はい、次、生涯学習課お願いします。
庄司課長	教育長、生涯学習課長。
永留教育長	はい、庄司課長。
庄司課長	それでは生涯学習課の予定を報告します。まず年度始めということもありまして、事業は全く入っておりません。月間業務としましては市内にある各施設の管理委託業務の契約業務をおこないます。それとここには書いておりませんが、5月の2日に開催します成人式と同じく5月8日に開催します聖火リレーの準備作業をおこなっていきます。以上でございます。
永留教育長	はい、次、文化財課お願いします
川辺課長	はい。
永留教育長	はい、川辺課長。
川辺課長	はい。文化財課の4月の予定は主に令和2年度の実績報告書の作成、国県の実績の作成状況になってきます。あと4月中に日程調整して対馬市盆踊り保存連合会の総会をどこかに入れたいなと思っております。後は年度始めの契約関係等の事務作業になります。以上です。

永留教育長	はい。事業予定の報告が終わりましたが、この件に関して質疑はありませんでしょうか。
一宮委員	はい。
永留教育長	はい、一宮委員。
一宮委員	入学式は教育委員会は。
吉野課長	入学式は教育委員会は出席を元々していないので、入学式メッセージという形で送ります。学校によっては来賓として地域の方と呼ばれるところはあるかもしれませんが、今回は全体の指示としては、各学校で判断してくださいということで、全体的に来賓の方も呼ばないような形にするような指示等は一切出しておりませんので、各学校の判断でということにしております。
永留教育長	来賓として出席はするけれども、教育委員会としての祝辞と言いますか、メッセージはないということ。 ほかにありませんか。 はい、それでは事業予定に関しては以上であげたいと思いますが、事務局から何か「その他」の事項でありませんか。 ないようでしたら、委員さん方から何か「その他」でありませんか。 ないようでしたら、本日の会議をこれで終了いたしますが、次回の会議日程の件で事務局からお願いします。
事務局	はい。次回4月は14日の校長会終了後に巖原の交流センターでおこないたいと思いますのでよろしくお願いします。
永留教育長	これで本日の日程は全部終了しましたので、会議を閉じます。以上をもちまして令和3年第3回対馬市教育委員会会議を閉会します。お疲れ様でした。
会場	お疲れ様でした。

